

JTAG キャリアデザインWG



学生が見るセキュリティ業界。
学生にとってセキュリティの仕事は魅力的か？」

2024/2/2

JTAGによる人材流動化イメージ



最近の学生の特徴

オンラインと対面の授業を併用。
オンラインでのコミュニケーションが
日常に存在する。

インターンシップも出社等はせずに
在宅ワークで実施



新入社員からでも高い給与の可能性
反面、給与だけではなく企業のビジョンに
共感して仕事を選ぶ。

ITがあることは前提
ITを使って何をすることが就職のポイント

調査テーマ

学生視点のキャリア調査

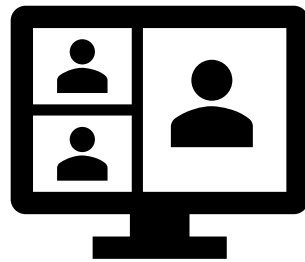
アンケート・インタビュー調査



500名超

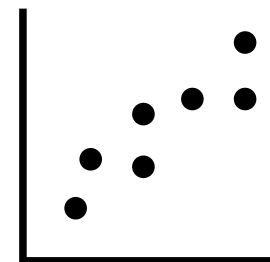
2023年のアンケート収集数

調査結果の分析



WG活動

パーソナリティ特性

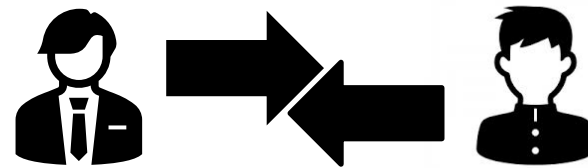
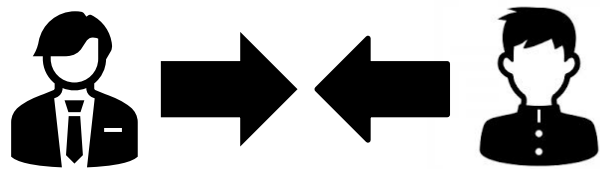


TIPI-J

Ten Item Personality Inventory

調査の背景

学生が産業界、特にセキュリティ業界に期待することを調査することで、産業界が求める要素と学生が期待することのギャップ調査を行う。産業界と学生の目線を合わせることで、学生の流入を促すきっかけを作る。



産業界が考える
就職やキャリア

学生が考える
就職やキャリア



アンケート調査

時期：8～12月末

時間：10分程度

方法：Formsへの入力

対象者：以下要件に合う学生

- ・セキュリティを中心に学んでいる学生

アンケート内容：以下質問カテゴリ約50問

- (ア)対象者のプロフィール情報
- (イ)就職・仕事に関する質問
- (ウ)セキュリティの仕事に関する質問
- (エ)セキュリティキャリアについての質問
- (オ) Ten Item Personality Inventory

■質問内容

パーソナルに関する質問
学校区分を選択してください。
学年を選択してください。
年齢を選択してください。
就職・働き方に関する質問
学校卒業後につきたい仕事・職種は決まっていますか？ ↓ ※内定がすでに出ている場合には、就職活動前を思い起こし回答してください。
就職活動をする上で重要視していること、していたことは何ですか？
リモートワークという働き方について、「人間関係の構築がしづらい」という不安はありますか？
リモートワークという働き方について、「相談がしづらい」という不安はありますか？
リモートワークという働き方について、「OJTで学びづらい」という不安はありますか？
リモートワークという働き方について、「勤務とプライベートの区別がしづらい」という不安はありますか？

取得した質問内容の一部

分析（本書）

分析時期：2023年12月～2024年1月

対象：アンケートの有効回答を抽出し実施

主な分析の切り口

(ア)学年

(イ)学校区分

主な分析手法

(ア)クロス集計

(イ)WG内ディスカッションによる考察

分析（今後の予定）

分析時期：2月～

対象：アンケートの有効回答を抽出し実施

主な分析の切り口

(ア)パーソナリー属性

主な分析手法

(ア)クロス集計

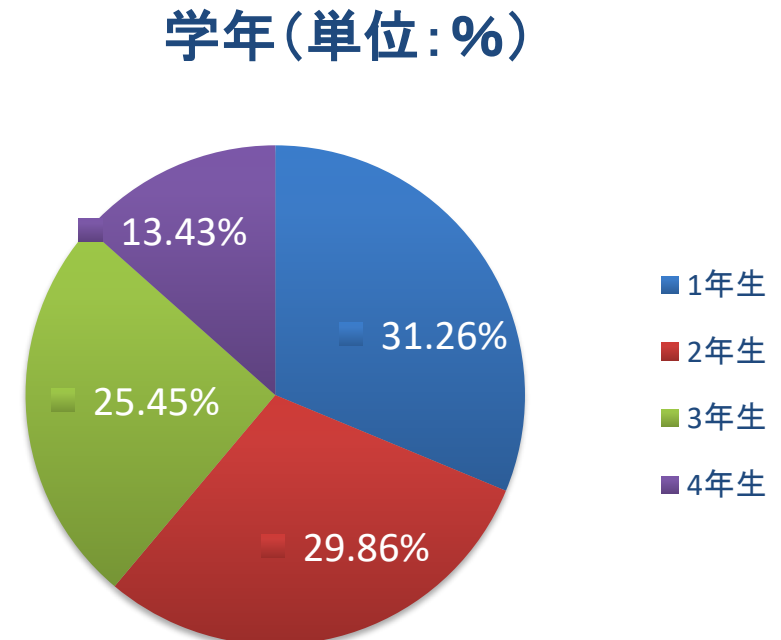
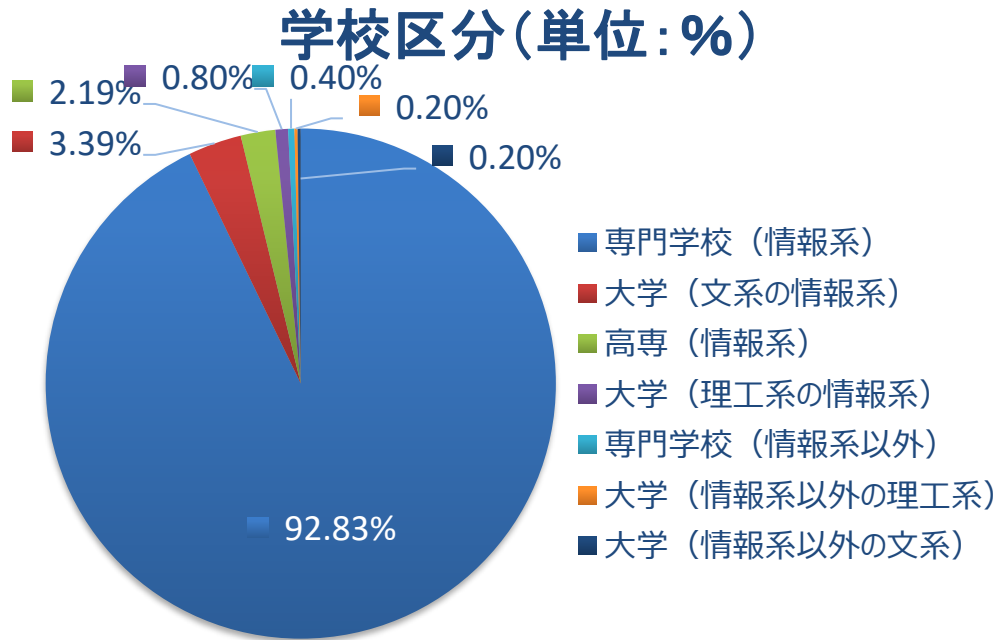
(イ)BIG5分析

(ウ)WG内ディスカッションによる考察

回答者属性

収集したデータと有効データ数（成型後）

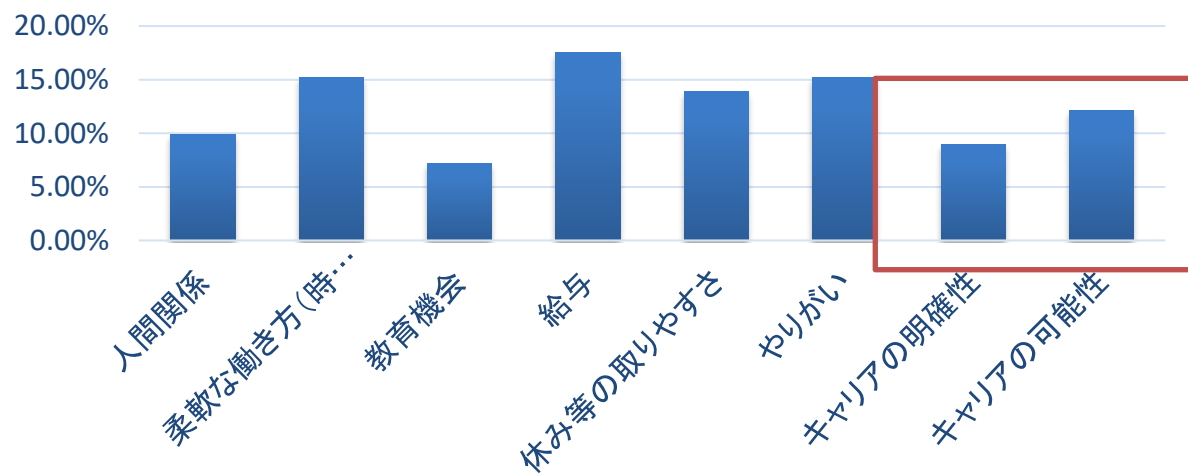
アンケート収集数	有効データ数	有効率
502人	502人	100%



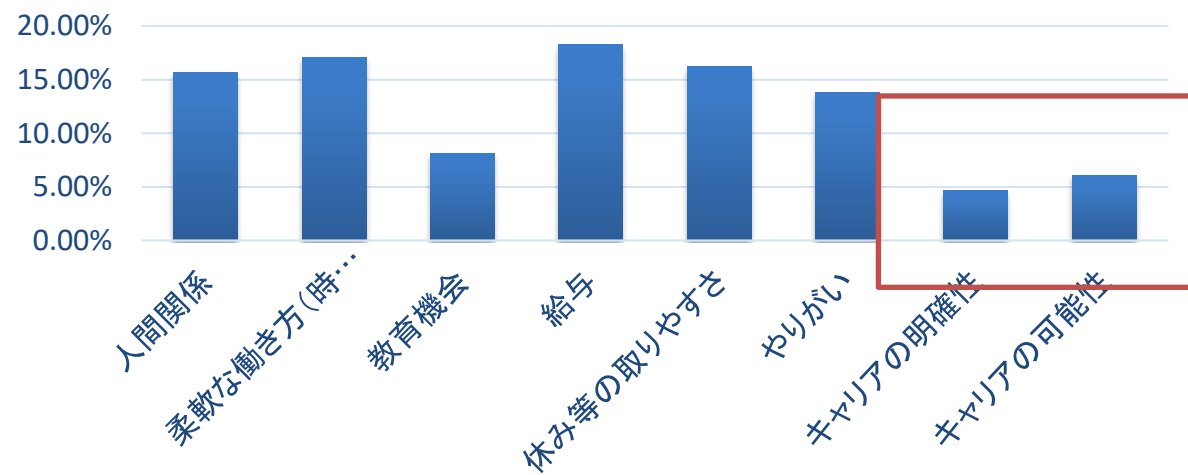
就職活動をする上で重要視していること、していたこと



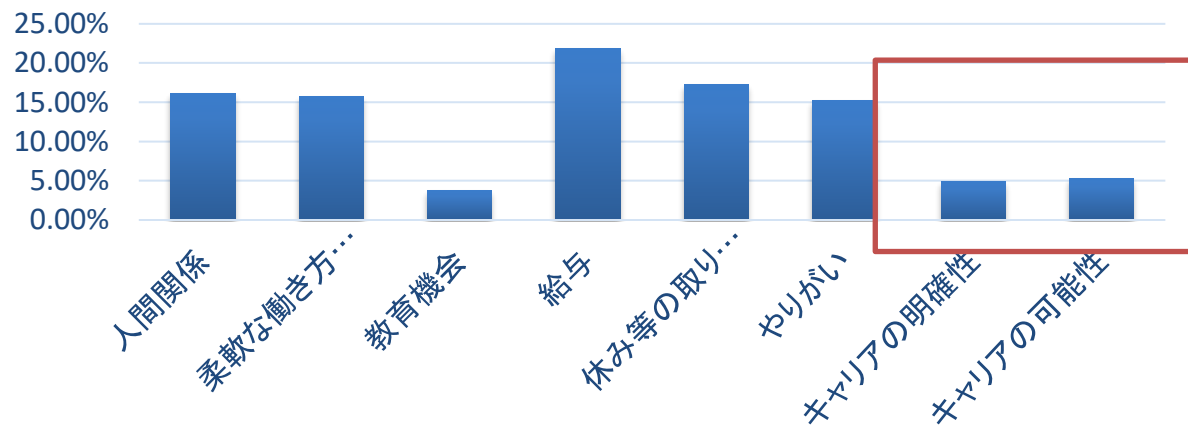
4年生



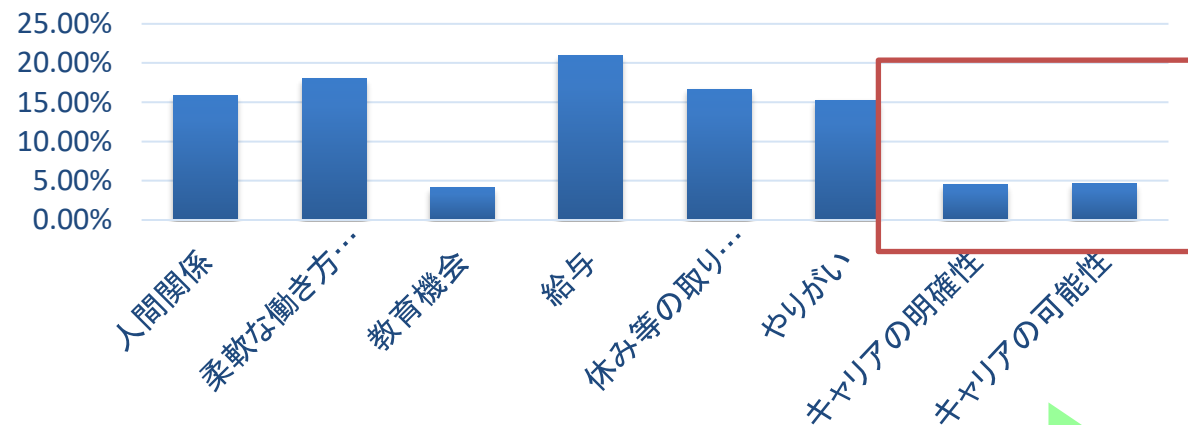
3年生



2年生



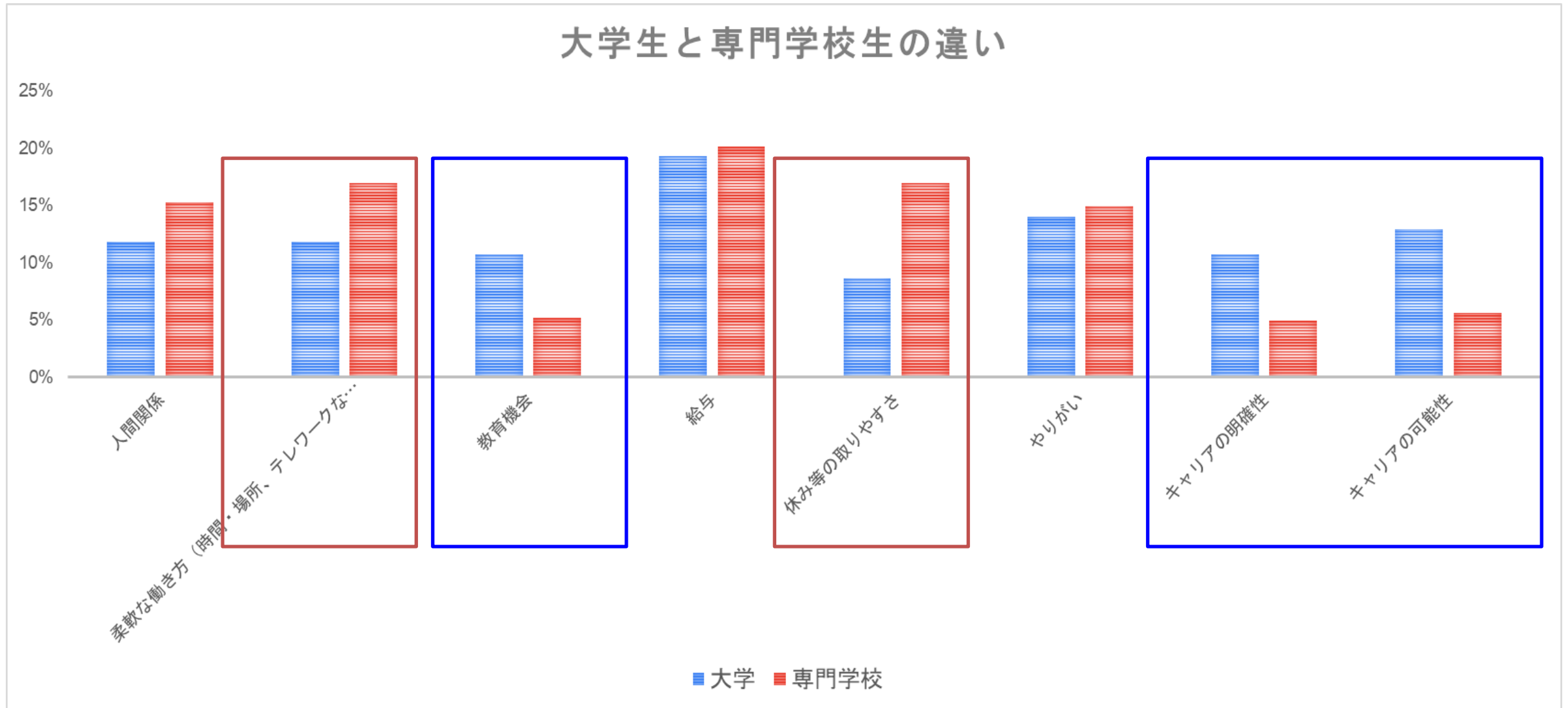
1年生



就職活動をする上で重要視していること、していたこと



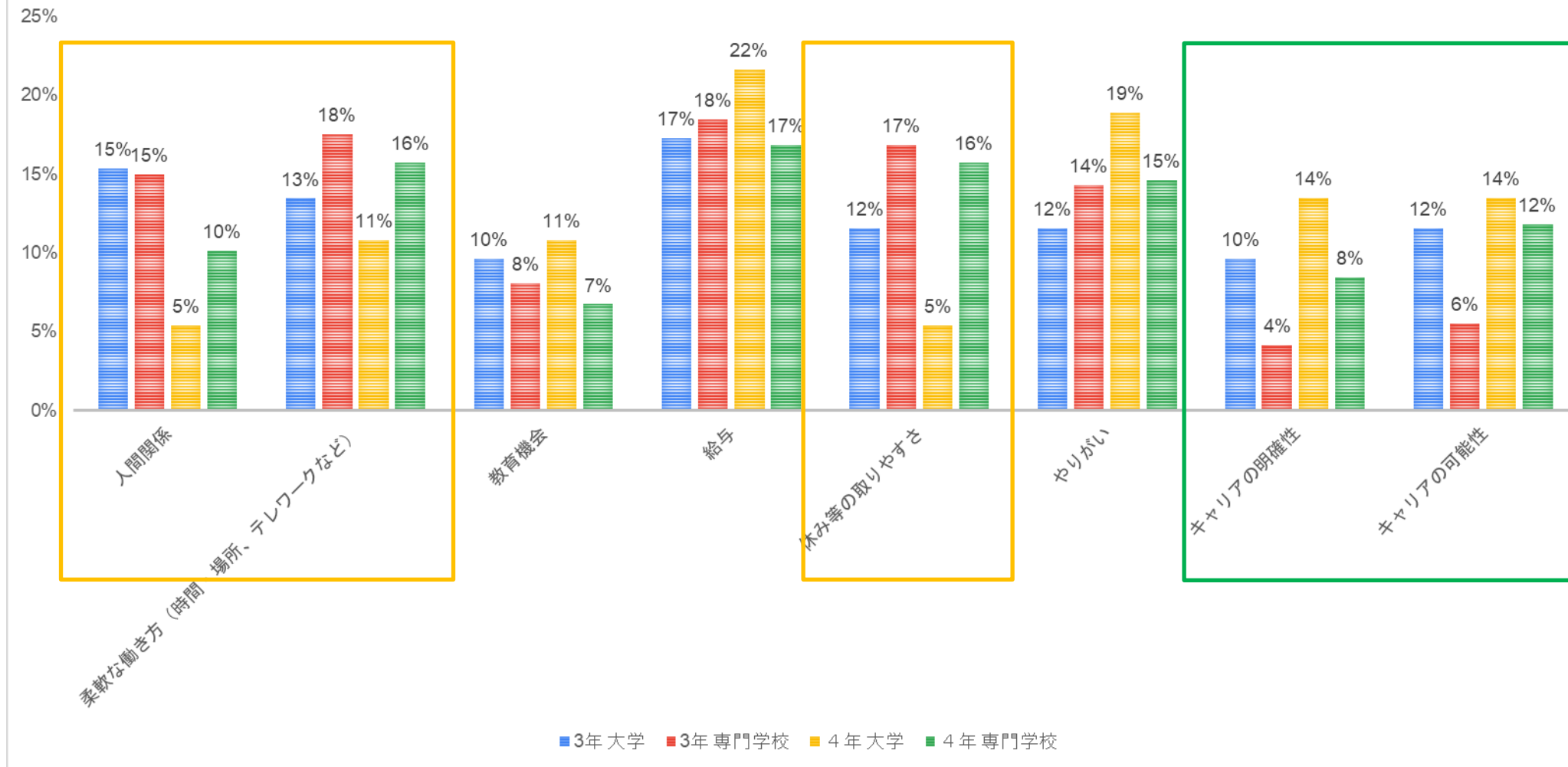
大学生と専門学校生の違い



就職活動をする上で重要視していること、していたこと

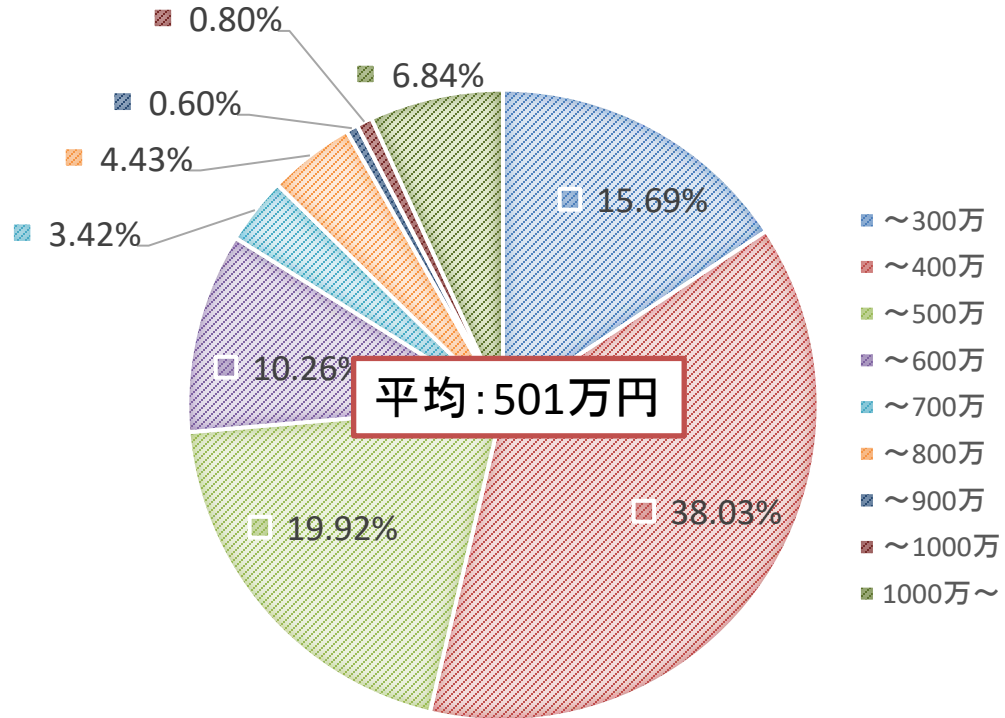


大学生と専門学校生の違い（3，4年生）

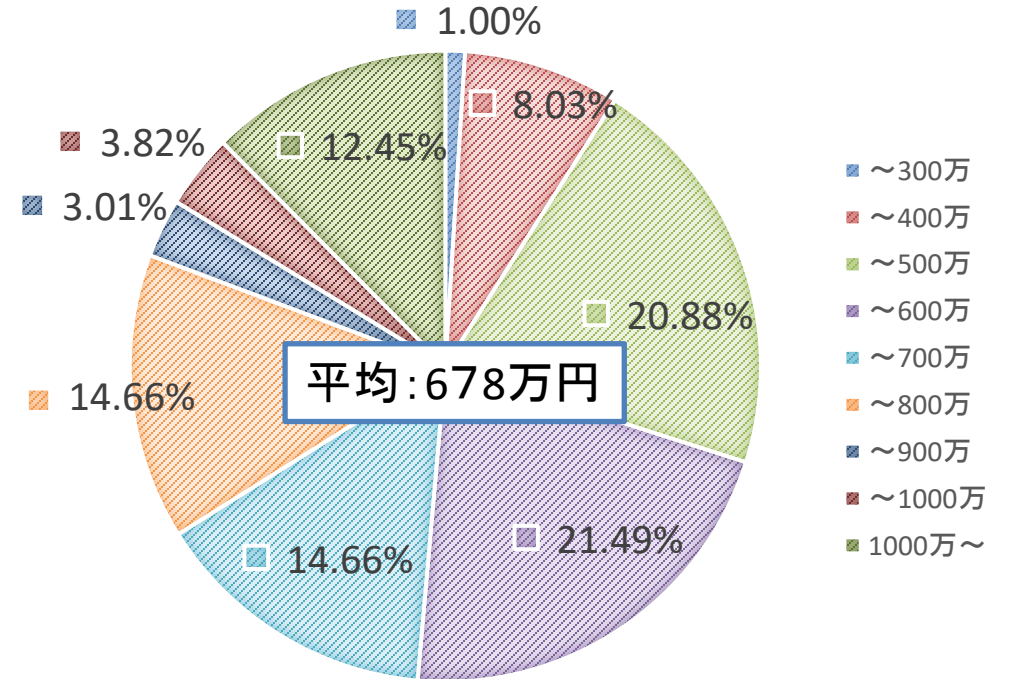


求める年収

入社時の希望年収



30歳時の希望年収

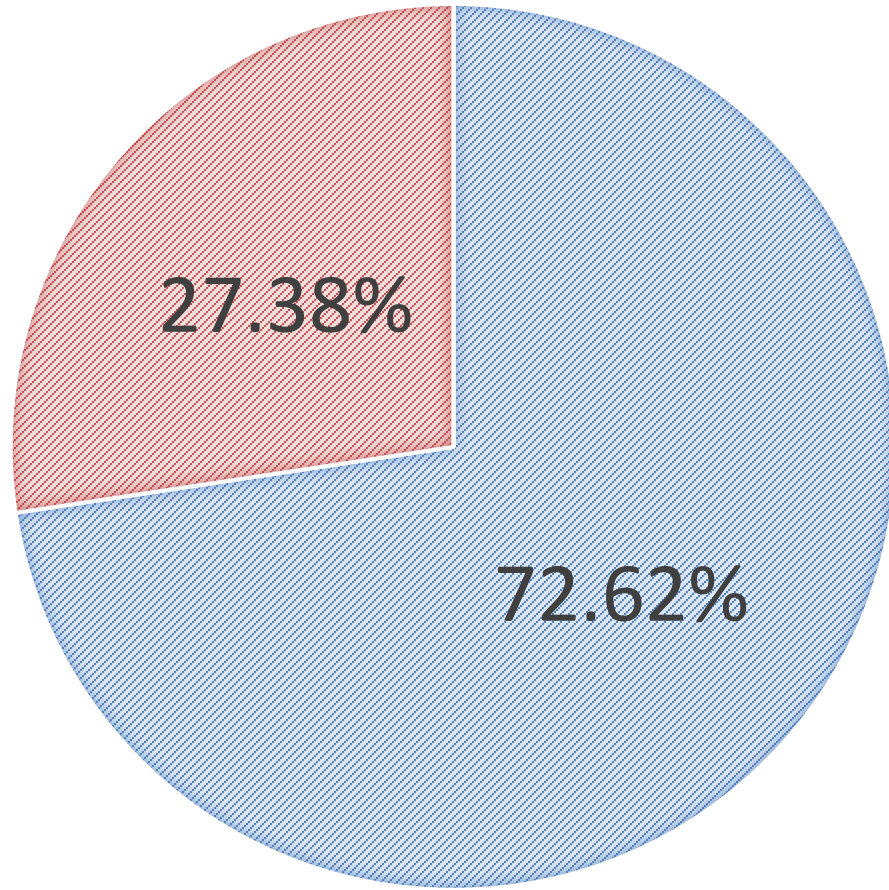


1年を通じて勤務した給与所得者の1人当たりの平均給与は461万円(国税庁)

セキュリティ関係の仕事に就きたいか



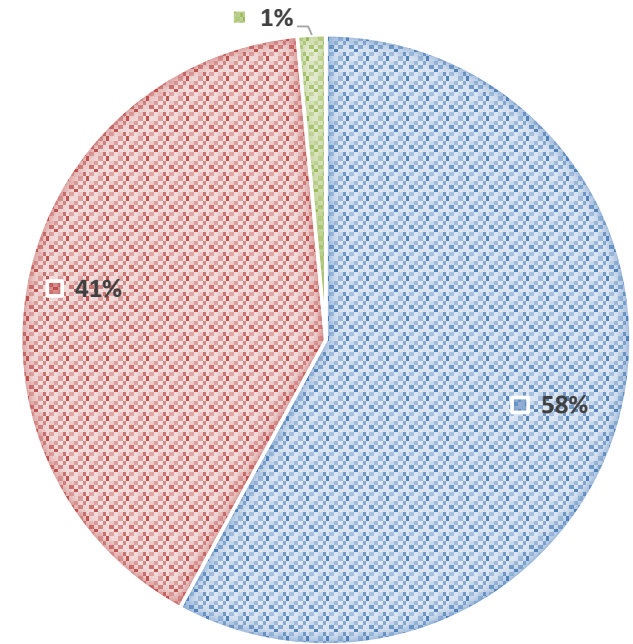
セキュリティ関係の仕事への就業希望



■ 就きたい(セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定) ■ 就きたくない

2022年の調査結果

セキュリティ 関係の仕事に就きたいですか？

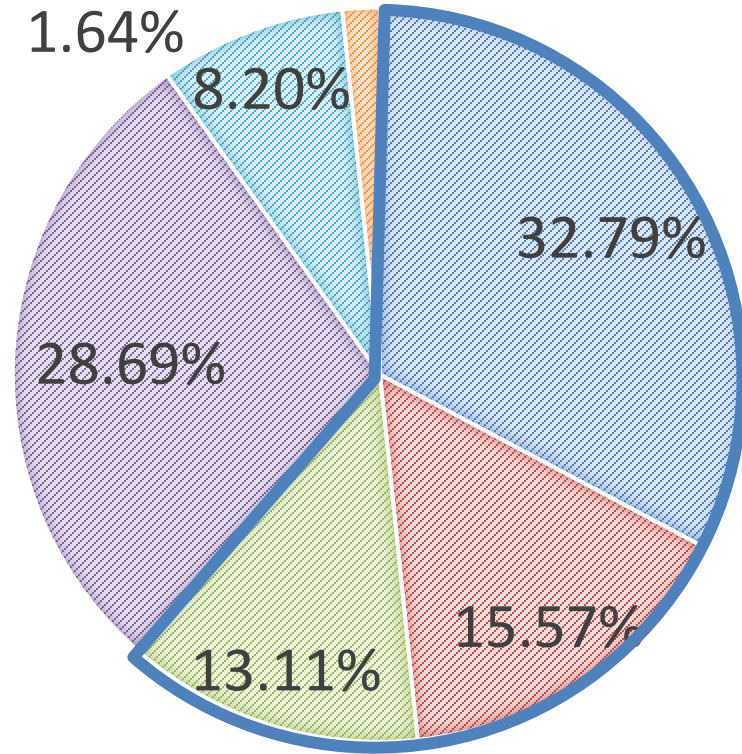


■ 就きたい(セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定)
■ 就きたくない
■ 未回答

セキュリティ関係の仕事に就きたいか

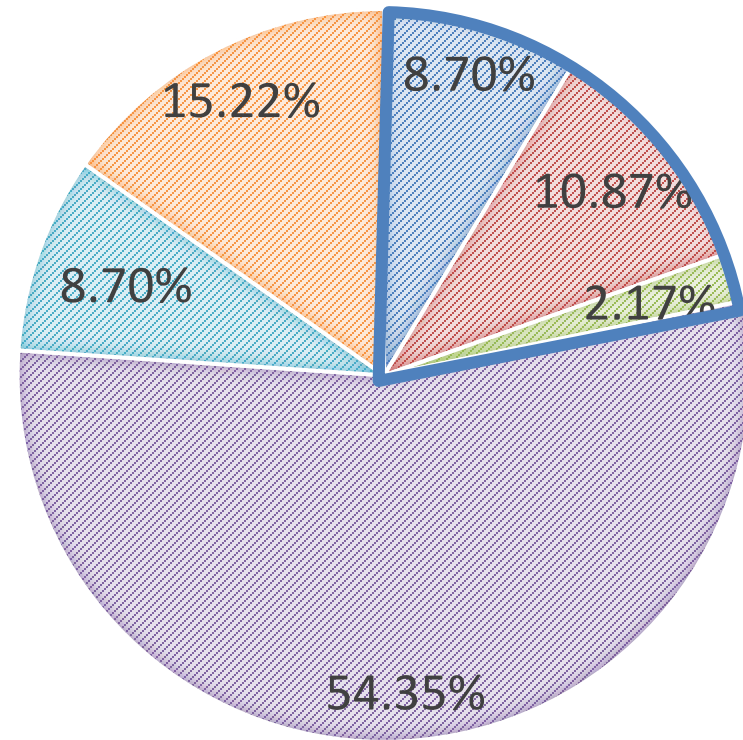


就きたい
(セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定)



- やりがいがありそう
- キャリアや成長の役に立ちそう
- 楽しそう
- 難しそう
- 忙しい
- 辛そう

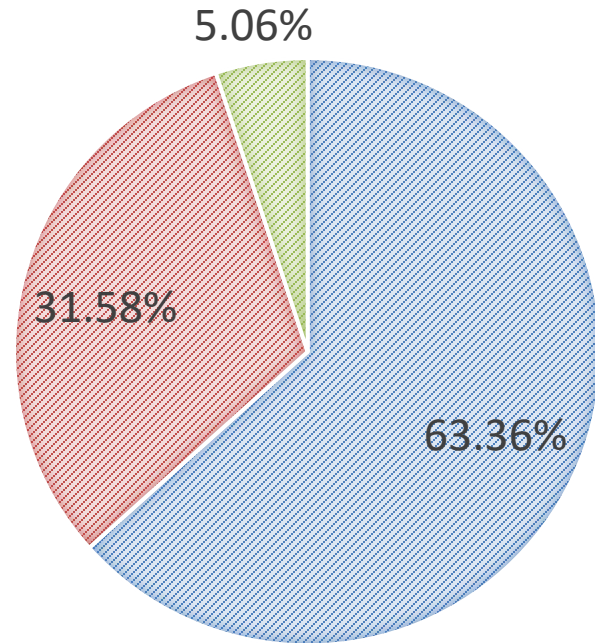
就きたくない



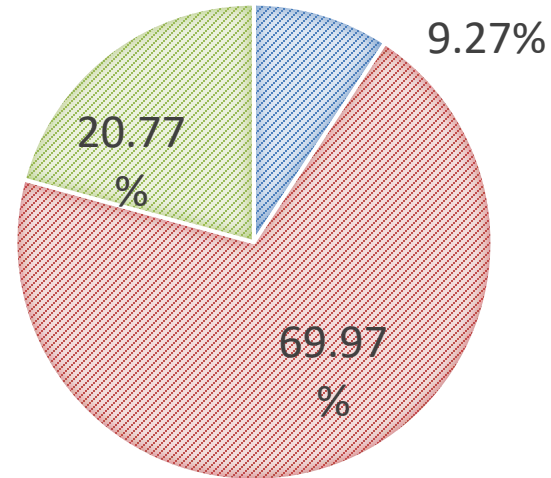
- やりがいがありそう
- キャリアや成長の役に立ちそう
- 楽しそう
- 難しそう
- 忙しい
- 辛そう

キャリアの築き方

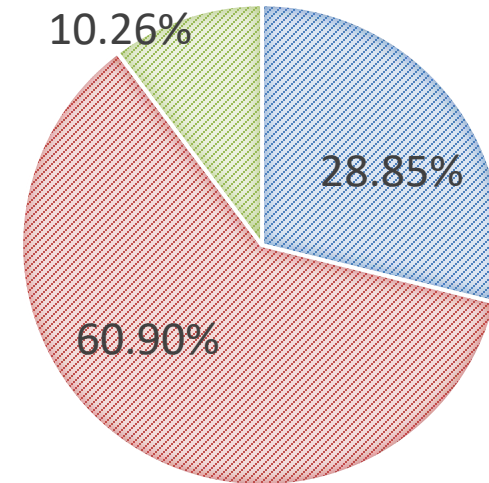
キャリアの築き方で近しい考え方を教えてください。



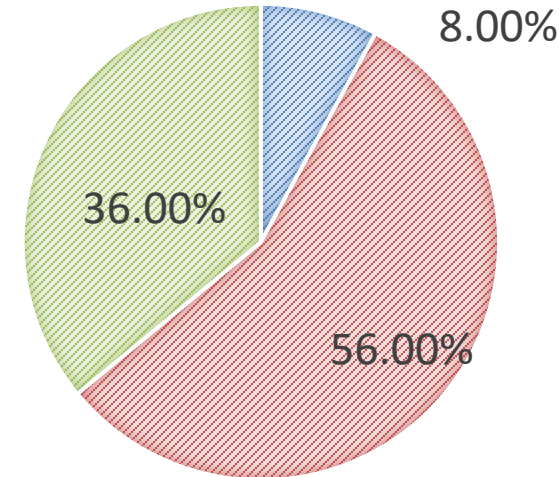
所属する会社にこだわらず
(副業なども実施し)キャリアを築きたい



所属する会社内でキャリアを築きたい



組織に属さずキャリアを築きたい

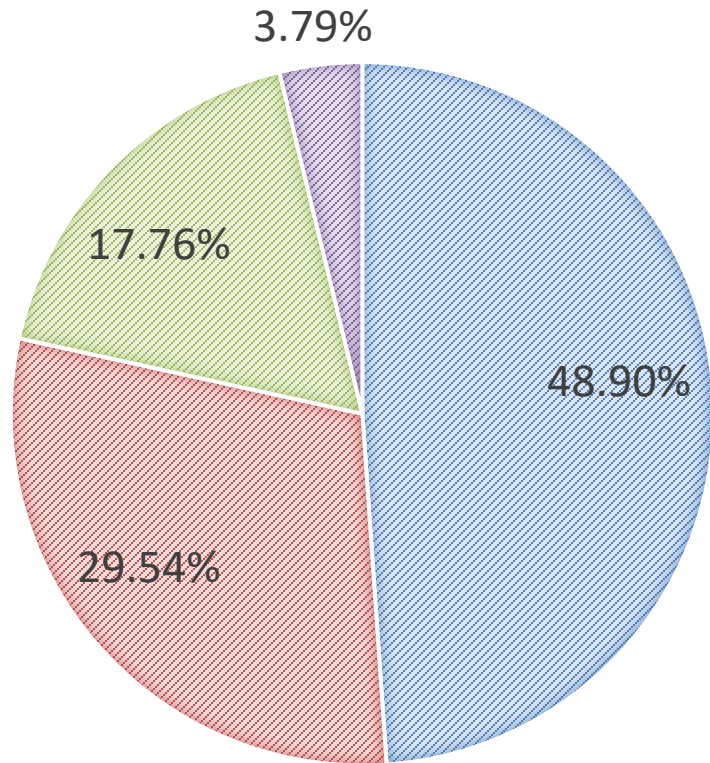


- 所属する会社にこだわらず(副業なども実施し)キャリアを築きたい
- 所属する会社内でキャリアを築きたい
- 組織に属さずキャリアを築きたい

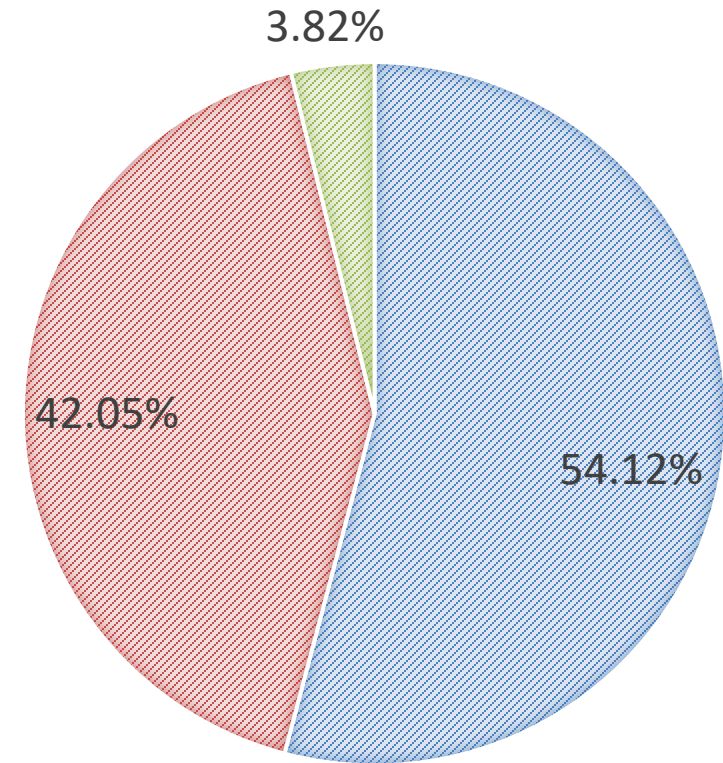
- 転職は考えない(ひとつの会社で定年まで働く)
- より良いキャリア形成のためには転職も考えたい
- チャンスがあれば積極的に転職したい

キャリアの築き方

自身の入社・就職後の
キャリア(仕事)の展望・展開



キャリアの可能性を会社から
提示してほしいですか？



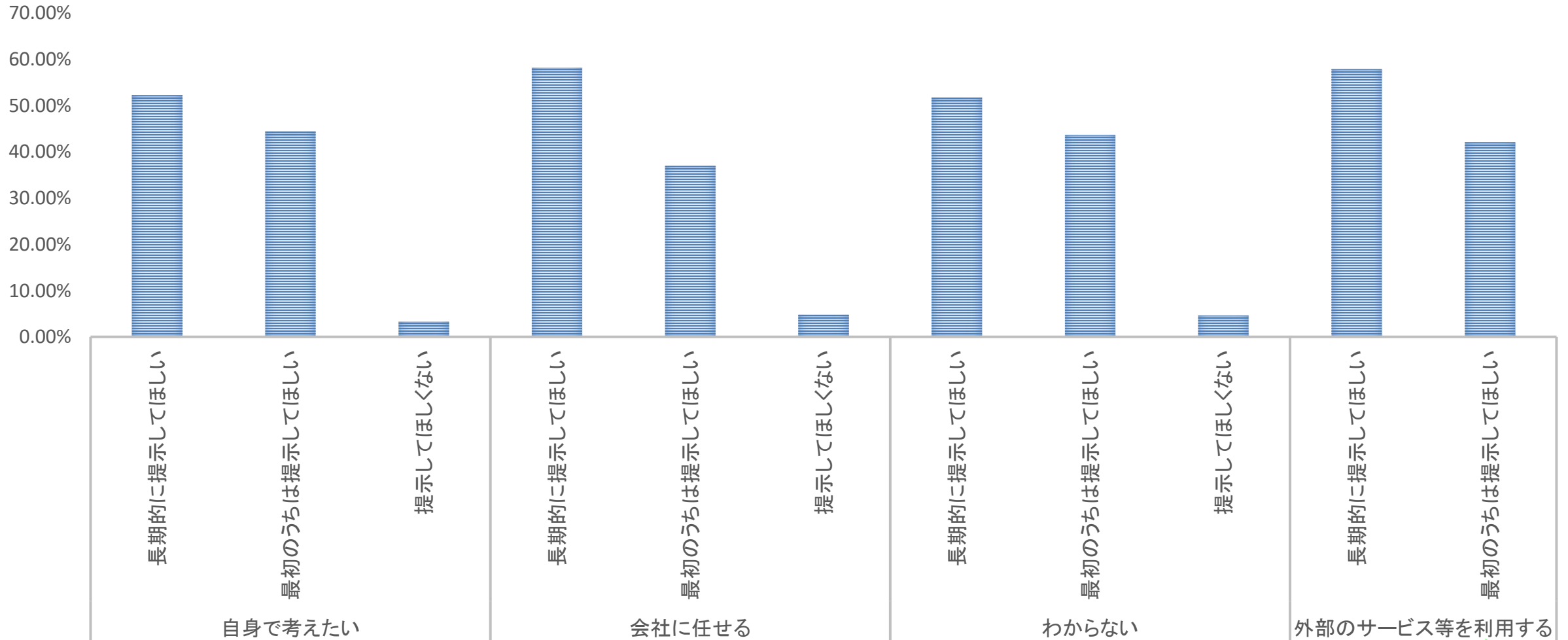
■ 自身で考えたい ■ 会社に任せる ■ わからない ■ 外部のサービス等を利用する

■ 長期的に提示してほしい ■ 最初のうちは提示してほしい ■ 提示してほしくない

キャリアの築き方



キャリアの可能性を会社から提示してほしいですか？

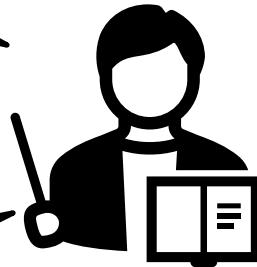


セキュリティ関係の仕事に就く人への期待



セキュリティ関係の仕事に就く人たちは今後どうなればよいと思いますか？	
高い年収を獲得する	79
DX/デジタル化推進の中心となる	51
セキュリティベンダーでなくても事業部門で売りに貢献する	16
なりたい職業ランキングに入る	13
勉強し続ける	1
自身の実力をもっと高める	1
セキュリティ関連の仕事でなくてもセキュリティの知識を持つべき	1
労働基準を見直す	1
正当に仕事を評価される（業績関係で蔑ろにされない）	1
セキュリティやITの人でない人から重要性を理解される	1
そのままが良い	1
経営者にとって価値が高いことが認められるようになる	1
わからない	1

セキュリティの授業をどのように進めれば良いのかわからない。



講師業を専門にしていると、実際にセキュリティの現場で働いたことがあるわけがないのでやりがいなどを伝えることが難しい。



セキュリティと言っても多くの仕事があるが、細かく説明できず、キャリア教育などが不十分だと感じている。

授業やコースを立ち上げたけれども、企業とのコネクションがなく就職において苦労している。

CDWG活動実績



タイトル	掲載日
学生のキャリア意識調査レポート	2023/2/16
JTAG認定ワーキンググループ金融版検討 概要版（トライアル結果）	2022/11/2
セキュリティ業務職種のキャリア展望について	2021/5/20
セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化における概念検証報告書 ～トライアル結果の考察～	2019/11/25
セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化施策の考察 ～プラス・セキュリティ人材の可視化に向けて～ <1.0版>	2019/10/30
キャリアパスグランドデザインの考察_ver1.0	2019/10/7
セキュリティ業務を担う人材の現状調査報告書 （2018年下期調査）	2019/6/19
セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化ガイドライン ～ プラス・セキュリティ人材の可視化に向けて ～ <β版>	2019/1/18
セキュリティ業務を担う人材の現状調査報告書 （2018年上期調査）	2018/11/2

今後の活動予定

アンケート・インタビュー調査



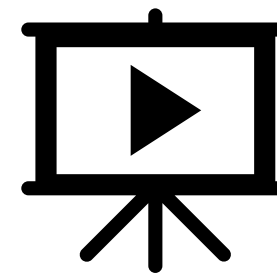
各種アンケートを
実施予定

分析活動



JTAG財団とも連動
した分析を計画

セミナー等開催



アンケート結果の
考察などを紹介

WGメンバー募集中
月1回程度 オンラインを中心に活動中

JTAG財団では、セミナーを実施しています。

現在さらに細かい分析も行なっております。

第6回の開催では、キャリア調査についてをテーマにお話しします！

JNSA共催 第5回座談会セミナー 公開中

生成AIの時代、セキュリティの仕事、セキュリティ人材の姿は？

～2030年にはどうなっているか、生成AIに聞いてみました！～

生成AIが社会に大きな変化をもたらすことはすでに活発な議論が行われています。生成AIによって無くなる仕事、新たに生まれる仕事、企業活動の変化など様々な視点から論じられています。今回の座談会では、一般社団法人ソフトウェア協会の元会長、現在はフェローでDX/AI推進研究会主査の要職にある竹原司様をゲストにお招きし、生成AIの急速な社会への普及によって、2030年にはセキュリティの仕事やセキュリティ人材はどのようになっているのか、近未来について語っていきます。2030年はさほど遠くない未来です。そのときには、セキュリティではどのようなスキルが必要とされてくるのか？、生成AIに任せられるもの/任せられないものは？、その時代で成功していくためには我々はどうしたらよいか？、また、そもそもセキュリティ専門人材は存在しているのか？セキュリティ人材の役割やイメージはどのように変化しているのか？セキュリティ以外でも同様なことが起きるのか？等々を、実際に生成AIにいろいろな質問をしておきその回答をもとに議論を深めていきます。

●配信期間：2024年2月1日（木）～2024年2月29日（木）

※配信開始日は変更になる場合があります

●開催方法：事前収録によるオンラインアーカイブ配信

※受講証を発行します（詳細は動画内でご案内します）

※視聴用のURLは、視聴開始日前にメールにてご案内いたします

●対象：

- ・セキュリティ関連の業務に従事している方々
- ・IT関連の業務に従事している方々
- ・経営層、事業企画/事業戦略担当の方々
- ・学生および教育機関の関係者
- ・GRC（ガバナンス/リスク/コンプライアンス）担当や法律関連の専門家
- ・研究者やコンサルタント

●【ゲスト】竹原 司様

・一般社団法人ソフトウェア協会（SAJ）元会長、現在フェロー
DX/生成AI推進研究会 主査

・株式会社エーアイスピリッツ 代表取締役 社長
インフォグリーン株式会社 代表取締役 社長

【モデレーター】

大槻晃助 JTAG財団事務局長

板倉恭子 JTAG財団企画委員（ネットワンシステムズ株式会社）

【登壇者】

江ノ本司 株式会社レオンテクノロジー

米澤一樹 パーソルプロセス&テクノロジー株式会社

渡邊和樹 AKKODiSコンサルティング株式会社

情報セキュリティ教育事業者連絡会（ ISEPA ）
JTAGキャリアデザインワーキンググループ
メールアドレス： sec@jnsa.org

